

## 部会プレゼン資料イメージ

### まちづくり部会資料

## 施策4-5-1 魅力にあふれた広域拠点の形成

まちづくり局  
平成29年5月

## 施策の概要

※内容はダミーです

概要 背景 取組 成果 まとめ

**基本政策（1層）** 活力と魅力あふれる力強い都市づくり

**政策（2層）** 魅力ある都市拠点を整備する

**施策（3層）** 魅力にあふれた広域拠点の形成

**直接目標** 川崎・武蔵小杉・新百合ヶ丘駅周辺の魅力を高める

### 主な事務事業

川崎駅周辺総合整備事業	〇〇〇〇事業
京急川崎駅周辺地区整備事業	〇〇〇〇事業
JR川崎駅北口自由通路等整備事業	〇〇〇〇事業
小杉駅周辺地区整備事業	〇〇〇〇事業
新百合ヶ丘駅周辺地区まちづくり推進事業	〇〇〇〇事業
〇〇〇〇事業	〇〇〇〇事業

# 実施計画に位置付けた成果指標

※内容はダミーです

概要 背景 取組 成果 まとめ

成果指標①	広域拠点(川崎駅・武蔵小杉駅・新百合ヶ丘駅)の駅周辺人口			
算出方法	広域拠点の駅を中心に半径500m圏内の町丁目の川崎市統計書による人口を合計			
指標の考え方	川崎、武蔵小杉、新百合ヶ丘駅周辺の整備を進め、各駅周辺の魅力が高まることで、各駅周辺の居住者の増加が見込まれるため、駅を中心に半径500m圏内の町丁目の人口を指標として設定する。(千人未満四捨五入)			
指標の目標値	12.6万人(H26)	12.9万人(H29)	13.3万人(H33)	13.4万人(H37)
目標値の考え方	「新たな総合計画の策定に向けた将来人口推計について」より算出した増減率を使用し、各年度の推計値を算出し、目標とする。			

成果指標②	広域拠点(川崎駅・武蔵小杉駅・新百合ヶ丘駅)の駅平均乗車人員			
算出方法	広域拠点の駅の川崎市統計書による乗車人員を合計			
指標の考え方	川崎、武蔵小杉、新百合ヶ丘駅周辺の整備を進め、各駅周辺の魅力が高まることで、各駅周辺の来街者や就業者等の増加が見込まれるため、往来するための代表的な交通手段である鉄道駅の利用者数を指標として設定する。(千人未満四捨五入)			
指標の目標値	52.4万人(H25)	53.8万人(H28)	55.3万人(H32)	55.9万人(H36)
目標値の考え方	「新たな総合計画の策定に向けた将来人口推計について」より算出した増減率を使用し、各年度の乗車人員の推計値を算出し、目標とする。			

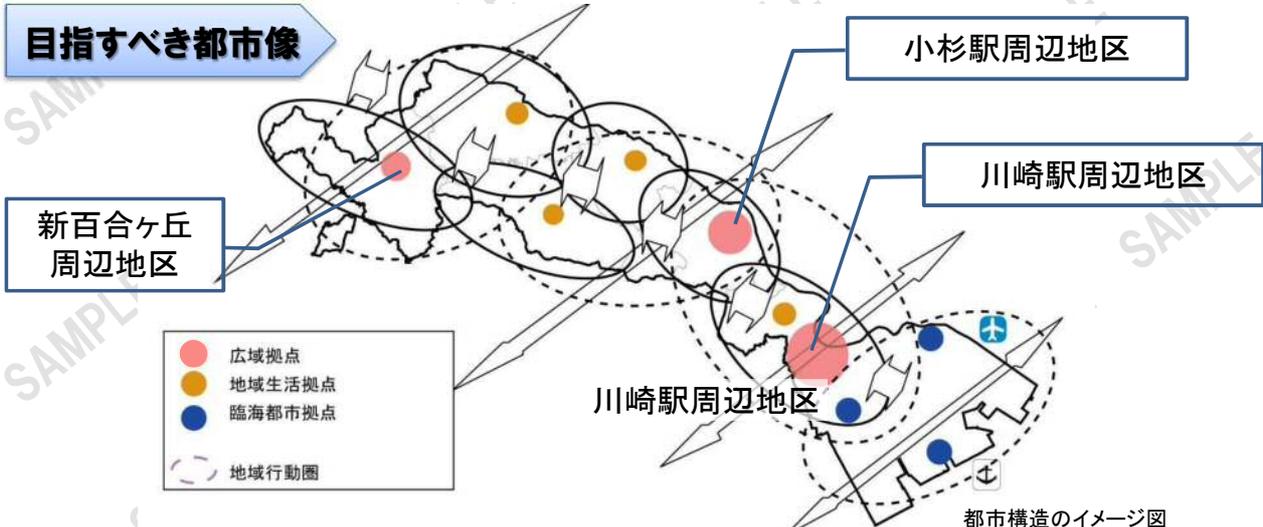


# 魅力と活力にあふれた広域調和型まちづくり

※内容はダミーです

概要 背景 取組 成果 まとめ

- 川崎市は、「**広域調和・地域連携型**」の都市構造を目指しており、①**川崎駅周辺地区**、②**小杉駅周辺地区**、③**新百合ヶ丘周辺地区**を「**広域拠点**」として位置づけています。
- 「**広域拠点**」は、東京や横浜との近接性など立地特性を活かしながら、他の都市拠点との適切な機能分担を行い、民間活力を中心としたまちづくりの推進により、個性と魅力にあふれた広域的な拠点を形成します。



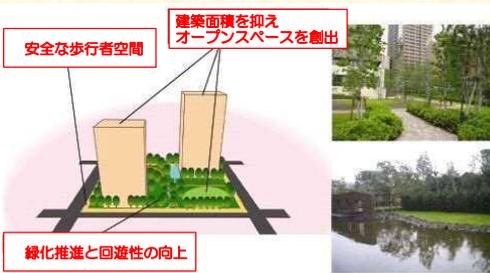


# 大規模な土地の利用転換とオープンスペースの創出

※内容はタミーです

概要 背景 取組 成果 まとめ

- 小杉駅の東側地区については、工場やグラウンドがありました。再開発により土地利用転換を行い、建物の容積率を緩和し、建築面積を抑えオープンスペースを創出することで、緑化の推進や回遊性の向上を図ってきました。

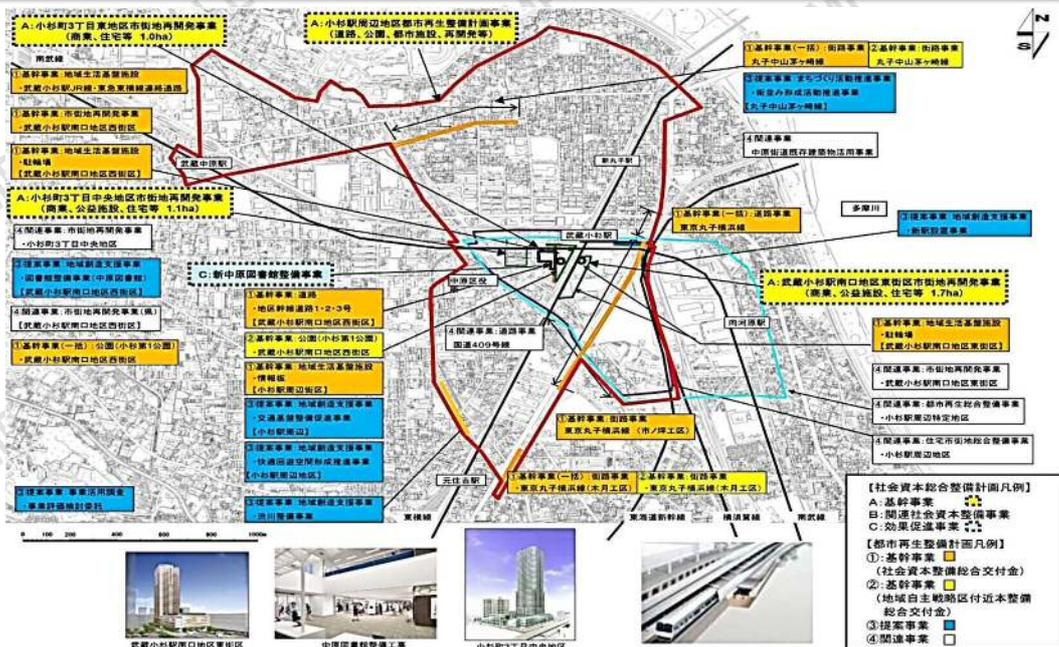


# 小杉駅周辺の計画期間の主な整備状況

※内容はタミーです

概要 背景 取組 成果 まとめ

- 今後、小杉駅の南側では、小杉町3丁目東地区市街地再開発事業や国道409号の整備にあわせてまちづくりを進め、都市基盤整備を推進するとともに、北側では、医療・福祉、文化・交流機能を中心としたまちづくりを進め、多くの都市機能が集積した誰もが暮らしやすいまちづくりを推進します。



# 計画期間中の取組(小杉駅周辺①)

※内容はタミーです

概要 背景 取組 成果 まとめ

## 武蔵小杉駅南口地区西街区市街地開発事業



武蔵小杉駅周辺航空写真(平成6年)



武蔵小杉駅周辺航空写真(平成26年)

### 事業の概要

- ◆事業期間:平成22年度～25年度
- ◆面積:1.4ha
- ◆延べ面積:67,720㎡
- ◆高さ:約150m
- ◆階数:地上39階  
地下2階
- ◆主な用途:住宅、店舗
- ◆公共施設:図書館

## 小杉町3丁目中央地区市街地再開発事業



武蔵小杉駅周辺航空写真(従前)



武蔵小杉駅周辺航空写真(平成24年)

### 事業の概要

- ◆事業期間:平成24年度～26年度
- ◆面積:約1.3ha
- ◆延べ面積:約78,000㎡
- ◆住戸数:約600戸
- ◆主な用途:  
住宅・商業・業務・保育所・区役所駐車場等

# 計画期間中の取組(小杉駅周辺②)

※内容はタミーです

概要 背景 取組 成果 まとめ

## 東京丸子横浜線の整備



自転車通行空間整備横断構成図

【標準部】



【交差点部】



### 事業の概要

- ◆延長:940m
- ◆幅員:W=21～25m
- ◆主な整備内容:道路の整備(4車線化)や交差点改良等



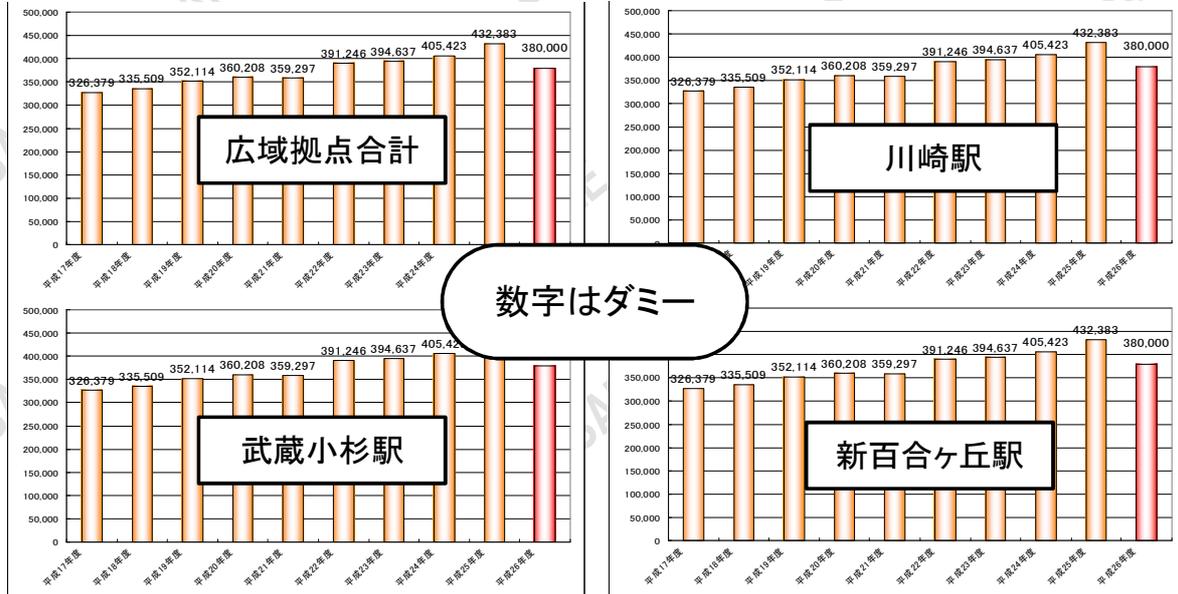
# 成果指標②の達成状況

※内容はダミーです

概要 背景 取組 成果 まとめ

## 広域拠点(川崎駅・武蔵小杉駅・新百合ヶ丘駅)の駅平均乗車人員

- 川崎駅・武蔵小杉駅・新百合ヶ丘駅の3駅ともに、駅平均乗車人員が増え、目標を達成しています。特に武蔵小杉駅については、駅周辺の再開発等により、駅利用客が増えており、指標全体をけん引しています。



# 成果指標①の成果分析(目標未達成)

※内容はダミーです

概要 背景 取組 成果 まとめ

## 広域拠点(川崎駅・武蔵小杉駅・新百合ヶ丘駅)の駅周辺人口

- 武蔵小杉駅周辺における再開発事業において、関係地権者との交渉に時間を要したため、着工が遅れ、計画期間内に大規模マンションの供用開始に至らなかったことから、武蔵小杉駅の周辺人口について、目標値に達することができませんでした。

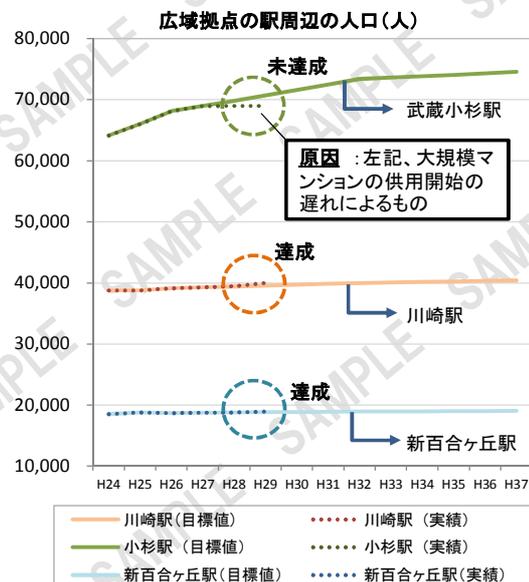
〇〇駅周辺航空写真(従前)



図はダミー



完成予想イメージ



# その他の事業発現効果(小杉駅周辺)

※内容はダミーです

概要 背景 取組 成果 まとめ

## 都市機能の集積状況

- 平成22年4月から平成27年3月までに整備された都市機能の延床面積を計測したところ、商業床については約109,000㎡増え、業務床についても約20,000㎡増加し、利便性の高まりや周辺人口の増加により、都市機能の集積が図られました。



# 施策の進捗状況

※内容はダミーです

概要 背景 取組 成果 まとめ

施策の進捗状況 B 一定の進捗がある(目標達成に向けて進捗している)

## 理由

- ① 施策に掲げた成果指標については、一部を除き、目標値を達成しているため、施策の目標達成に向けて一定の進捗がありました。
- ② 〇〇指標については、〇〇の影響により目標達成に至りませんでした。〇〇でそれを補う効果が出ています。
- ③ 成果指標以外の効果について、〇〇〇〇〇〇〇〇〇により賑わいが創出され、商業・業務施設などの都市機能が集積し始めています。
- ④ 〇〇〇〇〇〇.....

【施策の進捗状況区分】 A 順調に推移(目標達成している)、B 一定の進捗がある(目標達成に向けて進捗している)  
C 進捗は遅れている(目標達成が遅れる可能性がある)、D 進捗は大幅に遅れている(目標達成が難しい可能性がある)

# 施策の今後の方向性

※内容はダミーです

概要 背景 取組 成果 まとめ

## 今後の方向性

### Ⅱ 概ね効果的な構成である(一部見直し等の余地がある)

#### 理由

- ① 施策に掲げた成果指標については、一部を除き、目標値を達成しているため、施策を構成している事務事業の取組が順調に推移したことによるものと考えます。
- ② 一方、目標未達成の〇〇指標に関連する部分については、今の取組の〇〇な部分など、課題があることから、取組の改善を図ります。
- ③ また、新たに〇〇の課題が発生していることから、新たな課題への対応について検討していく必要があります。
- ④ 〇〇〇〇〇〇.....  
.....。

【今後の方向性区分】 I 効果的な事業構成である(現状のまま継続する)、Ⅱ 概ね効果的な構成である(一部見直し等の余地がある)  
Ⅲ あまり効果的な事業構成でない(見直し等の余地が大きい)、Ⅳ 事業構成に問題がある(抜本的な見直し等が必要である)



Colors, Future!  
川崎市

施策4-5-1 魅力にあふれた広域拠点の形成



15



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市